

## 学会だより

### 一般社団法人日本地域看護学会 2022年度事業報告書

#### I. 会員数

##### 1. ブロック別会員数

2023年5月31日現在

ブロック	都道府県	会員数
北海道・東北	北海道, 青森, 秋田, 宮城, 山形, 福島, 岩手	136
関東	群馬, 茨城, 栃木, 千葉, 埼玉, 神奈川	331
東京都	東京都	158
甲信越・中部	静岡, 愛知, 岐阜, 三重, 福井, 富山, 石川, 長野, 山梨, 新潟	281
関西	滋賀, 大阪, 京都, 奈良, 兵庫, 和歌山	233
中国・四国	岡山, 広島, 島根, 鳥取, 山口, 高知, 香川, 徳島, 愛媛	136
九州・沖縄	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 鹿児島, 宮崎, 沖縄	113
	会員数合計	1,388

##### 2. 経年会員数推移

総会報告時

年度	会員数	対前年度比	年度	会員数	対前年度比
1998	420	—	2011	1,286	94%
1999	569	135%	2012	1,298	100%
2000	695	122%	2013	1,312	101%
2001	794	114%	2014	1,339	102%
2002	918	115%	2015	1,417	105%
2003	935	101%	2016	1,404	99%
2004	976	104%	2017	1,441	102%
2005	1,068	109%	2018	1,438	99%
2006	1,128	105%	2019	1,424	99%
2007	1,172	103%	2020	1,413	99%
2008	1,241	105%	2021	1,405	99%
2009	1,265	101%	2022	1,396	99%
2010	1,360	107%	2023	1,388	99%

#### II. 事業報告

##### 1. 理事会を3回開催した。

会議名	開催日・方法	主な議題
2022年度 第1回理事会	2022年5月15日 オンライン会議	2021年度事業報告, 決算・監査報告, 2022年度事業計画, 予算, 2022年度以降の学会事務代行業務委託について, 第27回学術集会長の選出, 本学会誌掲載論文に対する相談と本学会の対応について等
2022年度 第2回理事会	2022年11月23日 オンライン会議	第26回学術集会理事会セミナー企画について, 新型コロナウイルス特設サイトの縮小について, ユースプログラムについて, 論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドラインについて等
2022年度 第3回理事会	2023年2月4日 オンライン会議	2023年度社員総会, 2022年度事業報告, 中間決算報告, 2022・2023年度事業計画, 予算, 2022年度表彰論文等

※その他, 監査および委員会における会議(詳細は各委員会の報告書を参照)を適宜開催した。

## 2. 臨時理事会を2回、メール審議を4回実施した。

会議名	審議結果報告日	議題	結果
第1回 臨時理事会	2022年6月26日 オンライン会議	本学会誌掲載論文に対する相談と本学会の対応について	全会一致で承認
第1回 メール審議	2022年7月5日 メール審議	次世代育成推進委員会についての委員構成案について	全会一致で承認
第2回 メール審議	2022年8月12日 メール審議	実践促進委員会についての委員構成案について	全会一致で承認
第3回 メール審議	2022年9月21日 メール審議	2022年度代議員・役員選挙スケジュールと構成メンバーについて	全会一致で承認
第2回 臨時理事会	2022年10月4日 オンライン会議	第1回臨時理事会経過報告と議事録承認について	全会一致で承認
第4回 メール審議	2022年11月23日 メール審議	8月10日協議(8/10)と第2回臨時理事会(10/4)の議事録案について	全会一致で承認

## 3. 社員総会を1回開催した。

会議名	開催日・方法	議案
2022年度 社員総会	2022年6月26日 書面にて実施、オンラインにて報告	2021年度事業報告、決算・監査報告、2022・2023年度事業計画、予算、名誉会員等

## 4. 会員報告会を第25回学術集會会期中に開催した。

## 5. 第25回学術集會を開催した。新型コロナウイルス感染症への対策により様々な制限がある中での3年ぶりの対面開催であった。

テーマ：地域生活者の健康と存在を護る地域看護のプロフェッション

—当事者・家族が普通に生活できる暮らしの場づくり—

学術集會会長：田村 須賀子（富山大学学術研究部医学系地域看護学講座 教授）

会 期：2022年8月27日（土）～8月28日（日）／Web開催 ～9月16日（金）

参加者数：722名

## 6. 日本地域看護学会誌第25巻第1号（2022年4月20日発行）、第2号（2022年8月20日発行）、第3号（2022年12月20日）を電子体で発行した。

## 7. 地域看護学に関する研究活動を推進し、委員会セミナーをオンライン開催にて実施した。

ライブ配信：2023年3月4日（土）

オンデマンド配信：ライブ配信後準備が整い次第、3月21日まで

タイトル：質的記述的研究とは何ぞや ―質的研究に関する10のキークエスチョンを基軸に学ぶ―

講 師：谷津 裕子氏（宮城大学看護学部 教授）

参加者：338名（会員：226名、大学院生：72名、非会員：40名）

## 8. 広報活動の一環として、全国市町特別区母子保健担当課1,560か所への広報・調査を実施した。

## 9. 地域看護学に関する教育のあり方について検討した。

## 10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、英文ニュースレター No.22を発行した。

## 11. 日本地域看護学会表彰制度を運営し、規程に基づき表彰論文（優秀論文1編および奨励論文2編）の決定と、名誉会員候補者の検討を行った。

## 1) 表彰論文

## 優秀論文

タイトル：原子力災害の備える保健活動に関するエスノグラフィー；原子力発電所立地区域の市町村保健師の内情の開示（原著）

著者：大森純子・川崎千恵・中野久美子・田口敦子・北出順子（敬称略）

巻号：第24巻第1号

## 奨励論文1

タイトル：特定保健指導該当者を対象とした特定保健指導の利用阻害要因尺度の開発（原著）

著者：赤堀八重子・齋藤基・大澤真奈美（敬称略）

巻号：第24巻第2号

## 奨励論文2

タイトル：住民ボランティアの見守り対象高齢者数と見守り活動・見守り関連活動や活動満足感・負担感との関連（研究報告）

著者：西結香・池田直隆・河野あゆみ・岡本双美子（敬称略）

巻号：第24巻第1号

## 2) 名誉会員候補者

平野かよ子氏（宮崎県立看護大学 名誉教授）

12. 災害に対する支援のあり方を検討した。
13. 地域看護学における実践活動を促進した。
14. 地域看護学における次世代育成を推進した。
15. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画した。
16. 選挙管理委員会を設置し、代議員・役員選挙を実施した。

**一般社団法人日本地域看護学会 2023年度事業計画書**

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第26回学術集会を開催する。
5. 第26回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第26巻第1号, 第2号, 第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育を推進する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い, 英文ニュースレターを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害に対する支援のあり方を検討する。
13. 地域看護学における実践活動を促進する。
14. 地域看護学における次世代育成を推進する。
15. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め, 活動に参画する。
16. 地域看護学の再定義を踏まえ, 関連学会との連携による地域看護学の概念整理等を行う。
17. その他必要な事業を行う。

**一般社団法人日本地域看護学会 2024年度事業計画書**

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第27回学術集会を開催する。
5. 第27回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第27巻第1号, 第2号, 第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育を推進する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い, 英文ニュースレターを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害に対する支援のあり方を検討する。
13. 地域看護学における実践活動を促進する。
14. 地域看護学における次世代育成を推進する。
15. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め, 活動に参画する。
16. 地域看護学の再定義を踏まえ, 関連学会との連携による地域看護学の概念整理等を行う。
17. 役員選挙を行う。
18. その他必要な事業を行う。

## 一般社団法人日本地域看護学会 2022年度貸借対照表

2023年3月31日現在  
(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
流動資産			
現金預金	34,489,062	30,465,760	4,023,302
普通預金(事務センター)	28,282,037	24,144,541	4,137,496
郵便振替(年会費等)	3,114,450	3,044,602	69,848
普通預金(第25回学会集金運転資金)	0	2,138,163	△2,138,163
普通預金(第25回学会集金参加費)	0	435,890	△435,890
普通預金(第26回学会集金運転資金)	2,390,006	0	2,390,006
普通預金(将来事業準備資金)	702,569	702,564	5
前払金	51,480	0	51,480
前払金(第25回学会集金運転資金)	0	1,294,518	△1,294,518
前払金(第26回学会集金運転資金)	10,000	0	10,000
流動資産合計	34,550,542	31,760,278	2,790,264
資産合計	34,550,542	31,760,278	2,790,264
II. 負債の部			
流動負債			
未払金	132,000	0	132,000
前受金(年会費等)	3,114,450	3,044,602	69,848
前受金(第25回学会集金運転資金)	0	1,625,891	△1,625,891
前受金(第26回学会集金運転資金)	1,400,006	0	1,400,006
流動負債合計	4,646,456	4,670,493	△24,037
負債合計	4,646,456	4,670,493	△24,037
III. 正味財産の部			
一般正味財産	29,904,086	27,089,785	2,814,301
正味財産合計	29,904,086	27,089,785	2,814,301
負債及び正味財産合計	34,550,542	31,760,278	2,790,264

## 一般社団法人日本地域看護学会 2022年度収支計算書

自 2022年4月 1日  
至 2023年3月31日

## I. 一般会計

## 1. 収入

(単位：円)

項目	2022年度 予算	2022年度 決算	差 異 (収入減 △)	備 考
1 年会費	13,800,000	13,510,000	△ 290,000	10,000円×1,351件 2021年度分：1,323 / 1,414人(入金率93.6%) 過年度分：28件
2 入会金	500,000	520,000	20,000	5,000円×104件
3 寄付金	0	0	0	
4 第25回学術集会	10,730,000	10,379,018	△ 350,982	助成金1,620,000円を含む
5 委員会セミナー参加費	500,000	684,000	184,000	研究活動推進委員会セミナー参加費
6 投稿料	200,000	140,000	△ 60,000	5,000円×28件
7 将来事業準備資金取崩	0	0	0	
8 雑収入	10,100	19,217	9,117	
(1) 利息	100	175	75	受取利息
(2) 著作権使用料	10,000	13,150	3,150	医学中央雑誌刊行会：9,240円、学術著作権協会：3,910円
(3) その他	0	5,892	5,892	学会誌売上等
(A) 当期収入合計	25,740,100	25,252,235	△ 487,865	
前期繰越金	26,387,221	26,387,221	0	
(B) 合計	52,127,321	51,639,456	△ 487,865	

## 2. 支出

(単位：円)

項目	2022年度 予算	2022年度 決算	差 異 (支出増 △)	備 考
<b>事業費支出</b>				
1 第25回学術集会	11,730,000	11,896,888	△ 166,888	
2 理事会セミナー	50,000	101,685	△ 51,685	講師謝金：55,685円、動画撮影・編集費：46,000円
3 会員報告会	50,000	57,420	△ 7,420	
4 研究論文表彰費	150,000	125,510	24,490	論文賞副賞：110,000円、賞状等：15,510円
5 学会誌	4,050,000	2,845,150	1,204,850	第25巻第1号、第2号、第3号
(1) 製作費	3,900,000	2,770,350	1,129,650	
(2) J-STAGE搭載作業費	150,000	74,800	75,200	
6 委員会活動費	2,770,000	1,865,640	904,360	
(1) 編集委員会	1,000,000	369,822	630,178	委員会開催費(3回)、拡大編集委員会開催費(1回)等
(2) 研究活動推進委員会	670,000	744,546	△ 74,546	委員会開催費(2回)、委員会セミナー開催費
(3) 広報委員会	200,000	216,127	△ 16,127	委員会開催費(3回)、アンケート調査実施費用
(4) 教育委員会	200,000	132,000	68,000	委員会開催費(3回)、地域看護学の図式化費用
(5) 国際交流推進委員会	200,000	225,005	△ 25,005	委員会開催費(1回)、NL No.22作成費・執筆料
(6) 表彰論文選考委員会	100,000	0	100,000	委員会開催費(1回)
(7) 災害支援のあり方検討委員会	200,000	96,060	103,940	委員会開催費(2回)、ワークショップ開催費
(8) 実践促進委員会	100,000	70,176	29,824	委員会開催費(5回)、ヒアリング調査実施費用
(9) 次世代育成推進委員会	100,000	11,904	88,096	委員会開催費(4回)、トークチャンネル講師謝金等
7 選挙運営費	650,000	589,192	60,808	代議員選挙・役員選挙運営費
(1) 選挙管理等受付管理費	220,000	220,000	0	
(2) 代議員選挙運営費	350,000	337,746	12,254	
(3) 役員選挙運営費	50,000	31,446	18,554	
(4) 選挙管理委員会会議費	30,000	0	30,000	
8 諸会費	100,000	100,000	0	
(1) 日本看護系学会協議会	80,000	80,000	0	2022年度会費
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000	20,000	0	2022年度会費
9 雑費	1,350,000	0	1,350,000	
事業費小計	20,900,000	17,581,485	3,318,515	

項目	2022年度 予算	2022年度 決算	差異 (支出増 △)	備考
<b>管理費支出</b>				
1 会議費	250,000	100,310	149,690	
(1) 理事会	200,000	89,310	110,690	理事会(3回), 臨時理事会(2回), Web会議費用を含む
(2) 社員総会	50,000	11,000	39,000	社員総会(1回)
2 交通・宿泊費	400,000	22,148	377,852	
3 印刷費	400,000	339,139	60,861	会議資料・封筒・年会費請求書等印刷費
4 発送費	400,000	398,854	1,146	年会費請求書・入会通知等発送費
5 ホームページ管理費	400,000	396,000	4,000	
6 業務委託費	3,500,000	3,496,970	3,030	
7 租税公課	70,000	70,000	0	法人税
8 雑費	120,000	33,033	86,967	
(1) 振込手数料	40,000	33,033	6,967	
(2) その他	80,000	0	80,000	
管理費小計	5,540,000	4,856,454	683,546	
<b>資産積立支出</b>				
1 将来事業準備資金積立金	0	0	0	
資産積立支出小計	0	0	0	
(C) 当期支出合計	26,440,000	22,437,939	4,002,061	
(A-C) 当期収支差額	△ 699,900	2,814,296	△ 3,514,196	
(B-C) 次期繰越金	25,687,321	29,201,517	△ 3,514,196	

## II. 積立金

## 将来事業準備資金

(単位：円)

収入	支出	備考
前期繰越金	取崩	0
繰入	次期繰越金	702,569
受取利息		5
収入合計	支出合計	702,569

一般会計次期繰越 29,201,517

積立金次期繰越金 702,569

正味財産 29,904,086

## 一般社団法人日本地域看護学会 2022年度財産目録

2023年3月31日現在  
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
普通預金(事務センター)	三菱UFJ銀行	一般会計/学会運転資金	28,282,037
郵便振替(年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計/翌事業年度計上年会費等	3,114,450
普通預金(第26回学術集会運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第26回学術集会運転資金	2,390,006
普通預金(将来事業準備資金)	三菱UFJ銀行	積立金/将来事業準備資金	702,569
前払金	三菱UFJ銀行	一般会計/2023年度計上会議費	51,480
前払金(第26回学術集会運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第26回学術集会運転資金	10,000
		流動資産合計	34,550,542
		資産合計	34,550,542
<b>(流動負債)</b>			
未払金	三菱UFJ銀行	一般会計/教育委員会活動費	132,000
前受金(年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計/翌事業年度計上年会費等	3,114,450
前受金(第26回学術集会運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第26回学術集会運転資金	1,400,006
		流動負債合計	4,646,456
		負債合計	4,646,456
		正味財産	29,904,086

## 一般社団法人日本地域看護学会 2023年度収支予算書

自 2023年4月 1日  
至 2024年3月31日

## I. 一般会計

## 1. 収入

(単位：円)

項目	2023年度 予算	2022年度 予算	2022年度 決算	備考
1 年会費	13,900,000	13,800,000	13,510,000	正会員10,000円×1,380人(入金率94%程度) ユース会員5,000円×20人
2 入会金	500,000	500,000	520,000	5,000円×100人
3 寄付金	0	0	0	
4 第26回学術集会	13,070,000	10,730,000	10,379,018	
5 委員会セミナー参加費	500,000	500,000	684,000	研究活動推進委員会セミナー参加費
6 投稿料	200,000	200,000	140,000	5,000円×40件
7 将来事業準備資金取崩	0	0	0	
8 雑収入	10,100	10,100	19,217	
(1) 利息	100	100	175	
(2) 著作権使用料	10,000	10,000	13,150	
(3) その他	0	0	5,892	
(A) 当期収入合計	28,180,100	25,740,100	25,252,235	
前期繰越金	29,201,517	26,387,221	26,387,221	
(B) 合計	57,381,617	52,127,321	51,639,456	

## 2. 支出

(単位：円)

項目	2023年度 予算	2022年度 予算	2022年度 決算	備考
<b>事業費支出</b>				
1 第26回学術集会	14,070,000	11,730,000	11,896,888	
2 理事会セミナー	50,000	50,000	101,685	
3 会員報告会	50,000	50,000	57,420	
4 研究論文表彰費	150,000	150,000	125,510	論文賞副賞：110,000円、その他：40,000円
5 学会誌	4,050,000	4,050,000	2,845,150	第26巻第1号、第2号、第3号
(1) 製作費	3,900,000	3,900,000	2,770,350	
(2) J-STAGE掲載作業費	150,000	150,000	74,800	
6 委員会活動費	2,800,000	2,770,000	1,865,640	
(1) 編集委員会	1,000,000	1,000,000	369,822	拡大編集委員会開催費(1回)を含む
(2) 研究活動推進委員会	500,000	670,000	744,546	セミナー開催費(1回)を含む
(3) 広報委員会	300,000	200,000	216,127	
(4) 教育委員会	300,000	200,000	132,000	
(5) 国際交流推進委員会	200,000	200,000	225,005	NL No.23作成費を含む
(6) 表彰論文選考委員会	100,000	100,000	0	
(7) 災害支援のあり方検討委員会	200,000	200,000	96,060	
(8) 実践促進委員会	100,000	100,000	70,176	
(9) 次世代育成推進委員会	100,000	100,000	11,904	
7 選挙運営費	0	650,000	589,192	
(1) 選挙管理等受付管理費	0	220,000	220,000	
(2) 代議員選挙運営費	0	350,000	337,746	
(3) 役員選挙運営費	0	50,000	31,446	
(4) 選挙管理委員会会議費	0	30,000	0	
8 諸会費	100,000	100,000	100,000	
(1) 日本看護系学会協議会	80,000	80,000	80,000	
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000	20,000	20,000	
9 雑費	50,000	1,350,000	0	
事業費小計	21,320,000	20,900,000	17,581,485	
<b>管理費支出</b>				
1 会議費	250,000	250,000	100,310	
(1) 理事会	200,000	200,000	89,310	監査会議費・Web会議費用を含む
(2) 社員総会	50,000	50,000	11,000	Web会議費用を含む
2 交通・宿泊費	1,100,000	400,000	22,148	
3 印刷費	400,000	400,000	339,139	封筒・請求書作成費等
4 発送費	400,000	400,000	398,854	年会費請求書等
5 ホームページ管理費	400,000	400,000	396,000	
6 業務委託費	3,500,000	3,500,000	3,496,970	
7 租税公課	70,000	70,000	70,000	法人税
8 雑費	120,000	120,000	33,033	
(1) 振込手数料	40,000	40,000	33,033	振込手数料・振替通知書発行手数料
(2) その他	80,000	80,000	0	登記変更費等
管理費小計	6,240,000	5,540,000	4,856,454	



項目	2023年度 予 算	2022年度 予 算	2022年度 決 算	備 考
<b>資産積立支出</b>				
1 将来事業準備資金積立金	0	0	0	
資産積立支出小計	0	0	0	
(C) 当期支出合計	27,560,000	26,440,000	22,437,939	
(A-C) 当期収支差額	620,100	△ 699,900	2,814,296	
(B-C) 次期繰越金	29,821,617	25,687,321	29,201,517	

## Ⅱ. 積立金

### 将来事業準備資金

(単位：円)

	取 入	支 出	備 考
前年度繰越金	702,564	取崩	0
繰入	0	次年度繰越金	702,564
受取利息	0		
取入合計	702,564	支出合計	702,564

## 一般社団法人日本地域看護学会 議事録

## 2022年度第1回理事会議事録

I. 日 時 2022年5月15日(日) 10:00～13:00

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元：株式会社ワールドプランニング会議室（東京都新宿区神楽坂4-1-1）

III. 出席者 理事長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子

理 事 秋山 正子, 石橋みゆき, 石丸 美奈, 大木 幸子\*, 大森 純子, 蔭山 正子, 岸 恵美子,  
北山三津子, 小西かおる, 田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗

監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛, 野田 智己

(\*印は欠席者)

## IV. 議 事

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

## 審議事項

1. 2021年度第4回理事会議事録案の承認について(宮崎理事長)資料1

2021年度第4回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。

2. 2022年度社員総会について(石丸理事)資料2

2022年度社員総会について、資料を基にスケジュール・審議事項・開催方法を確認した。6月初旬に、議決権を有する社員に資料および議決権行使書・委任状をメール送付して回答を受けつけ、6月26日(日)13:30～14:30、Zoomによるオンライン会議にて、議題の承認ならびに意見交換を行うこととした。また、当日の役割として、議長は宮崎理事長、司会は荒木田副理事長、議事録署名人は宮崎理事長・石橋理事に依頼することとした。

3. 2021年度事業報告(全体・委員会)について(石丸理事)資料3-1, 3-2

2021年度事業報告について、資料を基に確認した。委員会報告書に、編集委員会は次年度計画としてガイドライン委員会を設置する旨、教育委員会は『看護展望』2021年5月号に地域看護学の教育内容・方法について寄稿した旨、次世代研究活動推進チームは作成した『『地域看護学定義に基づく2040リサーチアジェンダ24』ならびに『2040リサーチアジェンダ24の達成にむけた戦略の柱』』を加えることとし、全体を再度点検したのち、2022年度社員総会に諮ることとした。

4. 2021年度決算案について(石橋理事)資料4

2021年度決算案について、収支計算書案を基に確認した。委員会活動費の備考欄に委員会開催回数を記載し、2022年度社員総会に諮ることとした。

5. 2021年度監査について(佐伯監事)

2022年5月12日に事業および会計監査を実施し、不適切な支出については認められないものの、一部会計資料が不足していたことから、最終資料の提出・確認後に監査報告書を作成予定である旨を報告した。

6. 2022・2023年度事業計画案について(宮崎理事長)資料5

2022年度事業計画書案、2023年度事業計画書案を基に確認した。2021年度から活動しているワーキンググループの活動に関する文言を一部修正し、2022年度社員総会に諮ることとした。

なお、ワーキンググループのうち、活動推進エンジンチームは実践促進委員会、次世代研究活動推進チームは次世代育成推進委員会を2022年度にそれぞれ立ち上げることとした。

7. 2022年度以降の学会事務代行業務委託について(宮崎理事長)資料6

2022年2月28日、学会事務を業務委託している株式会社ワールドプランニングより、前回の契約日(2015年6月20日)より6年が経過していること、諸経費の増加等の理由により業務委託費改定の申し入れがあった旨の説明がなされた。新旧の契約書・覚書・業務委託費比較表を確認し、覚書に一部加筆したうえで、これを承認することとした。なお、契約日は本理事会開催日である2022年5月15日とし、2022年度予算には改定後の金額を計上することとした。

8. 2022年度予算案について(石橋理事)資料7

2022年度の予算について、収支予算書案を基に確認した。委員会活動費のうち、災害支援のあり方検討委員会の予算額を修正、

実践促進委員会および次世代育成推進委員会の予算額を新たに計上し、2022年度社員総会に諮ることとした。

なお、積立金の今後の活用方針について発議があり、2022年度に審議することとした。

#### 9. 2022年度会員報告会について(石丸理事)資料8

2022年度会員報告会について、前回理事会にてオンライン開催とする旨を決定したが、8月27日(土)12:10~13:00に富山市の学術集會会場にて、表彰式も併せて対面で実施することに変更した。司会は、例年副理事長が担っていることから、総務にて調整し依頼することとした。

#### 10. 第27回学術集會長について(宮崎理事長)

2024年に開催される第27回学術集會の学術集會長について、大森理事に依頼する旨が提案され、これを承認した。会場は東北地方とし、テーマやプログラムは今後検討していくこととした。

#### 11. 入退会申請者について(石丸理事)資料9, 別紙資料

入会申請者77人、退会申請者67人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者で推薦人がいない7人のうち、富山県内の申請者3人は田村理事、残り4人は宮崎理事長を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

#### 12. その他

##### 1) 本学会誌掲載論文に対する相談と本学会の対応について(宮崎理事長・永田理事ほか)参考資料, 当日閲覧資料

本学会誌掲載の論文に対する相談が事務局にメールで届いたことについて、資料を基に説明がなされた。理事長・編集委員長・副編集委員長・前編集委員長・元編集委員長を中心に検討会を開き、慎重に検討したうえで、最終決定を下すこととした。

#### 報告事項

##### 1. 第25回学術集會について(田村理事)資料10

第25回学術集會の進捗状況について、資料を基に報告した。5月6日時点での登録数は、前期参加申込:200人、演題:137題、ワークショップ:10題である。また、予定どおり現地会場と一部オンラインでのハイブリッド開催にて実施することから、会場図やタイムテーブルを基に、感染対策、飲食の可否、2日目のプログラムの終了時刻等を確認した。

なお、理事会セミナーは、講師に来場の依頼はせず事前に講演動画を録画・撮影し、現地会場において座長臨席のもと、配信することとした。

##### 2. 第26回学術集會について(荒木田理事)資料11

第26回学術集會の会期について、オンライン開催:2023年8月21日~9月30日、現地開催(川崎市):2023年9月2・3日に変更する旨を報告した。

##### 3. 会員数について(石丸理事)資料12

5月10日時点での会員数は、1,391人である旨を報告した。

##### 4. 委員会報告について

##### 1) 研究活動推進委員会(大森理事)資料13

2021年度研究セミナー(LIVE配信:3月5日/オンデマンド配信:3月6~21日)が開催されたことについて、実施報告書を基に報告した。参加者は122人(会員105人、非会員12人、学生5人)であり、アンケート結果も概ね好評であった。

##### 2) 広報委員会(田村理事)資料14

地域包括支援センター1,010か所に対して実施した意向調査について、資料を基に調査結果を報告した。

##### 3) 次世代研究活動推進チーム(田高理事)資料15-1,2

「『地域看護学定義に基づく2040リサーチアジェンダ24』ならびに『2040リサーチアジェンダ24の達成にむけた戦略の柱』」について、資料を基に説明した。2022年度社員総会にて報告するとともに、HPにも掲載し、今後、学術的な公表についても検討する等、積極的な周知・活用を図ることとした。

##### 5. その他

##### 1) 2021年度全公連総会・学術集會について(田高理事)資料16

全国公衆衛生関連学協会連絡協議会2021年度第2回総会が3月26日に開催され、本学会より田高理事が出席したほか、同日開催された第3回(3期)学術集會における市民公開講座にて、春山理事が「新型コロナウイルス感染症対策において日本地域看護学会が果たす役割;学会員による保健所等支援の取組みから」をテーマに講演を行った旨を資料により報告した。また、2022年度からの役員が決定し、田高理事が役員に就任した。

## 2022年度第2回理事会議事録

I. 日 時 2022年11月23日(水) 10:00～12:30

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元：株式会社ワールドプランニング会議室（東京都新宿区神楽坂4-1-1）

III. 出席者 理事長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子

理 事 秋山 正子\*, 石橋みゆき, 石丸 美奈, 大木 幸子, 大森 純子, 蔭山 正子, 岸 恵美子,  
北山三津子\*, 小西かおる, 田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗

監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛

(\*印は欠席者)

## IV. 議 事

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

## 審議事項

1. 2022年度第1回理事会議事録案の承認について(宮崎理事長)資料1

2022年度第1回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。

2. 入退会者申請者について(石丸理事)資料2, 別紙資料

入会申請者26人, 退会申請者16人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者で推薦人がいない4人のうち、富山県内の申請者1人は田村理事, 残り3人は宮崎理事長を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

3. 第26回学術集会 理事会セミナー企画案について(田高理事)資料3

第26回学術集会における理事会セミナーについて、資料を基に検討した。講師候補者として川上憲人氏(一般社団法人淳風会 理事・産業衛生本部長)が選出され、副理事長より講演を打診することとした。

4. 新型コロナウイルス特設サイトの縮小について(田村理事)資料4

新型コロナウイルス特設サイトについて、開設時より有益な情報を多く提供してきたが、感染状況が落ち着いてきていることを鑑みて、掲載する情報を精査し、一部縮小することとした。

5. ユースプログラム案について(石丸理事)資料5

早い時期に会員となってもらうことで学会の活性化を図ることを目的に、正会員、賛助会員に加え、新たにユース会員を設けることについて、資料を基に説明した。対象について、学部学生とする、看護学の基礎教育課程を学ぶ者とする、看護に限定せず他分野まで含める等の意見が出されたことから、次回の理事会で継続して検討することとした。

6. 論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドライン案について(永田・蔭山理事)資料6

編集委員会で作成したガイドライン案を基に、主な点として、ガイドラインの適用対象となる事案発生時には編集委員会が審査を行い、その審査結果を受けて理事会が対応を決定すること、また、具体的な審議手順はCOPE(Committee on Publication Ethics, 出版倫理委員)の手順に従うことについて説明した。また、これまでの会議において、審査に当たる者のなかに第三者を加える必要性について意見が出されたが、委員会でも検討した結果、第三者の選定基準や情報開示の範囲を定めることが困難であるため、他のガイドライン等も参考にして本ガイドラインでは規定しないこととした旨を併せて説明した。

その他、理事会で検討した結果、撤回は最終的に学会が行う旨を明記すべき、編集委員長が審査に当たる者を選出する際、委員長が審査対象に該当する可能性を考慮してCOIの基準を明確にすべき、本ガイドラインとは別に実際の手順書となる内規を作成してはどうか等の意見が出されたことから、本ガイドラインの再検討とともに手順書の検討を引き続き編集委員会で行うこととした。

7. 委員等の役職の辞任について(宮崎理事長)資料7

査読委員および国際活動推進委員会委員である会員より辞任届の提出があり、これを承認した。なお、編集委員会・国際活動推進委員会ともに欠員の補充は行わないことを確認した。

8. その他

1) JANA 役員選挙の被選挙人推薦依頼について(宮崎理事長)資料8

JANAより、2022-2024年度役員選挙の被選挙人推薦の依頼があり、本学会より理事の被選挙人として田高副理事長を推薦することを決定した。なお、監事の推薦は行わないこととした。

## 報告事項

## 1. 第25回学術集会について(田村理事)資料9

第25回学術集会について、8月27～28日：富山国際会議場(富山県富山市)にて、8月27日～9月26日：オンデマンド配信にて開催されたことを報告した。参加登録者は722人(前期登録：会員367人、非会員249人、学生105人、ボランティア1人)であり、一般演題137題、ワークショップ10題、共催1団体、助成1団体、後援11団体、協賛8社の申込みがあった。招待者等を含めた参加者は826人であり、そのうち会場来場者は390人(富山県内171人、県外219人)、オンラインでの参加者は436人であった旨を報告した。また、アンケートは、会場100件、Web 96件の回答があり、資料を基に報告した。その他、会計については、中間報告を行った。

コロナ禍でのハイブリッド開催であったことから、今後の学術集会でメリットとデメリットをいかせるよう検討していくこととした。

## 2. 第26回学術集会について(荒木田理事)資料10

費用面から会場・日程を再検討し、2023年9月2～3日の日程で川崎市立看護大学(神奈川県川崎市)にて実施する旨、また、現地開催のほか、9月2日～10月30日までの期間でオンライン配信を行う旨を報告した。テーマは「『みんなで創る地域包括ケアシステム』の今を検証する」とし、資料を基にプログラム案について説明した。また、第25回学術集会において学生の参加が多かったことから、学生向けのプログラムや参加費を検討するほか、会場の収容人数等に十分配慮し、感染対策を行うこととした。

## 3. 会員数について(石丸理事)資料11

11月15日時点での会員数は、1,397人である旨を報告した。

## 4. 臨時理事会報告について(宮崎理事長)資料12

本学会誌掲載論文に対する相談と本学会の対応について、資料を基に、審議経過と最終結論を報告した。

## 5. 委員会報告について

## 1) 編集委員会(永田理事)資料13

10月11日に第2回委員会を開催し、優秀査読者賞の選出、研究不正防止ガイドラインの検討を行った旨を報告した。また、投稿促進を目的に、学術集会の優秀演題賞の受賞者に学会誌への論文投稿を呼びかけることについて検討中である旨を併せて報告した。

## 2) 研究活動推進委員会(大森理事)資料14

2022年度研究セミナーの開催に向けて、資料を基に報告した。「質的記述的研究とは何ぞや：質的研究に関する10のキークエストを基軸に学ぶ」をテーマに、谷津裕子氏(宮城大学看護学部教授)に講演を依頼している。日程は、2023年3月4日10:00～12:00にライブ配信での講演・質疑応答を行い、その後、21日までの期間でオンデマンド配信を実施することとし、1月13日からの参加受付開始に向けて、会員へチラシを郵送する旨を報告した。

## 3) 広報委員会(田村理事)資料15

2023年1～3月の期間で、市町村の保健センターの母子保健担当保健師へアンケート調査を実施する旨を報告した。対象となる自治体は1,558か所(市役所792、町役場743、東京都23)で、学術集会チラシ、入会案内とともに郵送する。

## 4) 教育委員会(岸理事)資料16

9月29日に第1回委員会、11月27日に第2回委員会を開催し、本学会として目指す看護師像を図にして見える化すること、また、次年度に向けて、「地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法」の評価、第26回学術集会でのワークショップの企画について検討を行っている旨を報告した。

## 5) 国際交流推進委員会(小西理事)

10月26日に第1回委員会を開催し、第26巻第1号に掲載予定である英文ニュースレター No.22の内容を検討し、原稿依頼を行った旨を報告した。また、11月22日に開催するWANS理事会に、委員長の小西理事が参加予定である旨を併せて報告した。

## 6) 表彰論文選考委員会(宮崎理事長)

表彰論文の選考に向けて、12月に役員・代議員へ投票を依頼する旨を報告した。

## 7) 災害支援のあり方検討委員会(春山理事)当日資料

第25回学術集会でワークショップを開催した旨、また、ワークショップの発表内容を基に、学会誌に委員会報告を掲載予定である旨を報告した。

## 8) 実践促進委員会(大木理事)資料17

「地域看護」にかかわる実践者に対して、少子高齢化時代の実践活動の課題や関心のあるテーマ、実践の場で学会に期待するこ

との2点について、ヒアリング調査を実施した旨を報告した。

9) 次世代育成推進委員会(蔭山理事) 資料18

YouTubeの配信を10月に4回実施した旨を報告した。「2040リサーチアジェンダ24について」「なぜ学会に入るのか? 学会のメリットって?」等をテーマに掲げ、各回ともに30名程度の参加があり、今後も継続して企画することとした。また、LINEのオープンチャット機能を用いて、「地域看護の次世代を考えるグループ」の開設を進めている旨、その件で医学書院『保健師ジャーナル』からの取材依頼があった旨を併せて報告した。

10) 選挙管理委員会(小西理事) 資料19

2022年度代議員選挙・役員選挙について、資料を基に、スケジュールや選挙人・被選挙人の人数等を報告した。11月14～28日の期間で代議員選挙の投票を受付中であり、11月28日に開票のための選挙管理委員会(オンライン会議)にて代議員70人を選出し、2023年1月13～27日の期間で役員選挙を実施予定である。

6. その他

1) 全公連学術集会の開催方針について(田高理事) 資料20

全国公衆衛生関連学協会連絡協議会の加盟団体が20→26団体に増えたことから、学術集会の開催方法を検討している旨を報告した。本学会は、これまでどおり加盟団体が3年に1度発表を行う形式を支持する旨を回答済みであり、2023年2月頃に結果が通知される。

2) 第9回遺伝看護セミナーからの後援依頼について(宮崎理事長) 資料21

日本遺伝カウンセリング学会および日本遺伝看護学会が共催する第9回遺伝看護セミナー(2023年2月6日～3月19日/オンデマンド配信)の実行委員会より、本学会へ後援の依頼があり、承認した旨を報告した。また、本学会の会員へメールマガジンで周知することとした。

2022年度第3回理事会議事録

I. 日 時 2023年2月4日(土) 13:00～16:30

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元:株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4-1-1)

III. 出席者 理事長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子

理 事 秋山 正子\*, 石橋みゆき, 石丸 美奈, 大木 幸子, 大森 純子, 蔭山 正子, 岸 恵美子,  
北山三津子\*, 小西かおる, 田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗\*

監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛

(\*印は欠席者)

IV. 議 事

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

審議事項

1. 2022年度第2回理事会議事録案の承認について(宮崎理事長) 資料1

2022年度第2回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。

2. 2023年度社員総会について(石丸理事) 資料2

2023年度社員総会の開催方法について、書面にて決議を取ったうえで、対面による会議にて議題の承認を行う形式とする旨の提案がなされ、これを承認した。事前に議決権を有する社員に資料および議決権行使書・委任状を送付して回答を受けつけ、6月25日(日)に、都内会議室にて、議題の承認ならびに意見交換を行うこととした。なお、出席社員の旅費については、学会で負担する旨を併せて確認した。

3. 2023・2024年度事業計画案について(宮崎理事長) 資料3

2023年度事業計画案ならびに2024年度事業計画案について、資料を基に確認した。教育委員会・実践促進委員会・次世代育成推進委員会の活動に関連する計画の表記を一部修正したうえで、これを承認した。次回理事会において再度確認し、2023年度社員総会に諮ることとした。

4. 2023年度予算案について(石橋理事) 資料4

2023年度予算案について、資料を基に確認した。社員総会出席者の旅費を計上するほか、アーカイブ動画公開サイトの構築費

等を検討したうえで、次回理事会において再度確認し、2023年度社員総会に諮ることとした。

#### 5. 2022年度表彰論文・名誉会員について(永田理事)資料5

表彰論文選考委員会にて選考した、2022年度表彰論文ならびに名誉会員候補者について、資料を基に確認した。

論文賞は、第24巻第1～3号に掲載された16論文を対象に、2022年12月9日～2023年1月23日の期間で代議員による投票を行い、投票率は43.5%であった旨、投票結果を受けて以下のとおり優秀論文賞1編および奨励論文賞2編を選考した旨を報告した。

##### 優秀論文

タイトル：原子力災害の備える保健活動に関するエスノグラフィー：原子力発電所立地区域の市町村保健師の内情の開示(原著)

著者：大森純子・川崎千恵・中野久美子・田口敦子・北出順子(敬称略)

巻号：第24巻第1号

##### 奨励論文1

タイトル：特定保健指導該当者を対象とした特定保健指導の利用阻害要因尺度の開発(原著)

著者：赤堀八重子・齋藤基・大澤真奈美(敬称略)

巻号：第24巻第2号

##### 奨励論文2

タイトル：住民ボランティアの見守り対象高齢者数と見守り活動・見守り関連活動や活動満足感・負担感との関連(研究報告)

著者：西結香・池田直隆・河野あゆみ・岡本双美子(敬称略)

巻号：第24巻第1号

今回の選考において、投票する代議員が選考対象の論文の筆頭著者・共著者である場合は、当該論文に関する投票は棄権として取り扱った旨の報告があり、選考方法も含め適切であることを確認し、これを承認した。受賞論文は、会員報告会で表彰するほか、学術集会会場でのパネル掲示、学会HPに選考理由・受賞者の声を掲載する旨を併せて報告した。

また、名誉会員候補者については、委員会からの推挙は行わない旨を報告したが、理事より候補者が挙げられたため、次回理事会にて再度検討することとした。

#### 6. ユース会員について(石丸理事)資料6

継続審議となっているユース会員の設置について、資料を基に確認した。対象者については、「大学や短大、専修学校に在学する者」とした。入会金はなし、年会費は正会員の半額(5,000円)とするほか、継続して正会員となる場合には特典として入会金は免除すること、また、代議員の選任には関与しないことについて確認し、これを承認した。定款の改正が必要となるため、2023年度社員総会に諮ることとした。

#### 7. 論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドライン案について(永田・蔭山理事)資料7

修正した「論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドライン案」のほか、新たに作成した「審議手順に関する内規案」「掲載論文の撤回および訂正に関する内規案」について、資料を基に検討した。

ガイドラインは、前回理事会での審議を受け、事案発生時に審査にあたる編集委員は編集委員長が選出するが、編集委員長がCOI関係にある場合には副編集委員長が選出する旨[3.審議手順-1]、編集委員による審査結果を基に最終審議は理事会が行う旨[3.審議手順-2]について追記した。

また、審査者に第三者を加える必要性について、前回理事会でも第三者の選定基準や情報開示の範囲を定めることが困難であることを理由に本ガイドラインでは定めないこととしたが、編集委員で不足のある場合には会員から適切な者を選ぶ旨の但し書きを加えてはどうか、との意見が出された。

「論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドライン案」「審議手順に関する内規案」「掲載論文の撤回および訂正に関する内規案」は次回の理事会で最終案の承認後に施行することとし、2023年度社員総会やHP等でも周知することとした。

#### 8. 日本地域看護学会と日本公衆衛生看護学会の共同による地域看護学／公衛生看護学の概念整理の取組について(宮崎理事長)資料8

日本公衆衛生看護学会より、本学会と共同で地域看護学と公衛生看護学の概念整理を行い、共同見解を示すことについての提案があった旨を説明した。検討の結果、両学会共通の事業として新たに委員会やワーキンググループを組織し、学問としての位置づけや関連性を整理することとした。なお、本学会は2023年度より新体制となることから、次期理事会に申し送ることとした。

#### 9. 2023年度以降に学会が取り組む実践促進活動案について(大木理事)資料9

実践促進委員会で検討した、2023年度以降に学会が取り組む実践促進活動案について、資料を基に説明した。①現場実践の支援、②ネットワークづくり、③現場の研究支援、④経済的負担の軽減のための支援、⑤広報対策の5つの計画のうち、2023年度は①、②に取り組むこととし、理事会の了解を得た。

## 10. 入退会申請者および年会費滞納者について(石丸理事)資料10, 別添資料

入会申請者9人, 退会申請者18人について, 資料を基に確認し, これを承認した。なお, 入会申請者で推薦人がいない2人のうち, 1人は小西理事, 1人は宮崎理事長を推薦人とする旨, 退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

また, 年会費滞納者について, 2年滞納の26人は会員資格の継続を認め, 引き続き年会費を請求することとし, 3年滞納の20人は年度内に納付がない場合には退会手続きを取ることにし, これを承認した。

## 11. その他

## 1) JANA 2023 - 2024年度役員選挙について(宮崎理事長)資料11

JANA役員選挙について, 本学会の会員より, 理事は田高悦子氏, 中谷淳子氏, 鳩野洋子氏の3名, 監事は荒木田美香子氏に投票することとした。

## 報告事項

## 1. 第25回学術集会について(田村理事)

決算書類を作成し, 監査中である旨を報告した。

## 2. 第26回学術集会について(荒木田理事)資料12

1月13日より演題登録・ワークショップの受付を開始している旨を報告した。演題の査読は査読委員に事前に承諾を得ずに直接依頼することとし, 協力を呼びかけた。

また, 学生向けの特典・企画として, ①参加費を2,000円とする, ②学生による口演発表を募集する(5題), ③「学会って何?」をテーマとした取材・発表会を設けることについて, 資料を基に報告した。なお, 地域看護学へ興味をもつことで本学会への入会に繋がるよう, 学生向けのプログラムへ参加する学生は, 非会員も登録可能とすることとした。

## 3. 第27回学術集会について(大森理事)資料13

2024年6月29日(土)~30日(日)の日程で, 仙台市の会場(AER)とWebでのハイブリッド形式による開催を予定している旨, テーマを「地域看護のソーシャル・イノベーション; 社会をより良くする看護科学の可能性の探求」とする旨を報告した。

## 4. 会員数について(石丸理事)資料14

2月1日時点での会員数は, 1,402人である旨を報告した。

## 5. 2022年度事業報告(全体報告)について(石丸理事)資料15

2022年度の事業について, 事業報告書案(学会全体および委員会活動)を基に確認した。年度内に予定している活動について追記する等, 全体を再度確認し, 2023年度社員総会に諮ることとした。

## 6. 委員会報告について

## 1) 編集委員会(永田理事)資料16-1

2月1日に第3回委員会を開催した旨を報告し, 「論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドライン案」等の作成のほか, 論文の投稿数が少ないことから, 投稿促進のための検討を行っている旨を報告した。

## 2) 研究活動推進委員会(理事)資料16-2

2022年度研究セミナーの参加申込数は155名であり, 2月19日の申込締切までにメーリングリスト等で参加を呼びかける旨を報告した。

## 3) 広報委員会(理事)資料16-3

1月より実施している市町村の保健センターの母子保健担当保健師へのアンケート調査について, 回答ハガキの受付・集計中である旨を報告した。

## 4) 教育委員会(理事)資料16-4

図などを用いた地域看護学の見える化に向けて, パワーポイント資料「地域看護学を学んだナース像の可視化: 『地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法』に基づいた育てたい看護師像」を基に説明した。在宅・地域公衆衛生の概念整理に関して, さらに見直しを行い, 授業等に活用できるツールとして完成を目指す旨を報告した。

## 5) 国際交流推進委員会(小西理事)資料16-5

第26巻第1号に掲載予定の英文ニュースレター No.22を作成中である旨を報告した。

## 6) 表彰論文選考委員会(永田理事)資料16-6

2022年度表彰論文として, 優秀論文賞1編, 奨励論文賞2編を選定した旨を報告した。

## 7) 災害支援のあり方検討委員会(宮崎理事長)資料16-7



第25回学術集会で開催したワークショップの発表内容を基に、学会誌への委員会報告掲載に向けて準備を進めている旨を報告した。

8) 実践促進委員会(大木理事)資料16-8

2023年度以降に学会が取り組む実践促進活動案について、検討した旨を報告した。

9) 次世代育成推進委員会(蔭山理事)資料16-9

地域看護次世代育成トークチャンネルの企画として、2月15日(水)20:00~21:00に「研究成果の発信のときにモヤモヤゴマゴマすること」をテーマにYouTubeのライブ配信を実施する旨を報告した。

また、LINEのオープンチャット「地域看護の次世代を考えるグループ」には、開設後、15名程度の参加があったほか、本活動に関して、医学書院『保健師ジャーナル』79巻1号(2023年2月刊行)へ、「LINEオープンチャット『地域看護の次世代を考えるグループ』開設の狙いと展望」の寄稿を行った旨を併せて報告した。

10) 選挙管理委員会(小西理事)資料16-10

2022年度選挙について、資料を基に報告した。代議員選挙は2022年11月28日に開票が行われ、投票率は25.2%(選挙人1,185人、投票数299人)であった旨、代議員70人を選出した旨を報告した。

また、役員選挙は、1月27日に開票が行われ、理事12名、監事2名を選出し、諾否を確認中である旨を報告した。

7. 2022年度中間決算について(石橋理事)資料17

1月31日付の収支計算書を基に、2022年度中間決算について報告した。

8. その他

1) 全公連学術集会の開催方針について(田高理事)資料18

全国公衆衛生関連学協会連絡協議会の学術集会で各学会が行う発表の頻度を3年に1度(3年巡回)から2年に1度(2年巡回)に変更する提案を受け、本学会はこれまでどおり3年巡回を希望する旨を回答したが、2年巡回を承認する学会も多かったことから、新たに、3年巡回を希望する学会は変更なし、それ以外の学会は2年巡回に変更とする旨を、3月25日開催の2022年度学術集会時に開かれる総会で審議することとなった旨を報告した。

2) 日本学術会議第26-27期会員・連携会員の推薦について(石丸理事)

日本学術会議より、第26-27期会員・連携会員の推薦依頼があり、本学会より蔭山正子氏、永田智子氏、石橋みゆき氏、大森純子氏の4名を推薦した旨を報告した。

2023年度からの理事・監事候補者による懇談会議事録

I. 日 時 2023年5月14日(日)10:00~11:40

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元:株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4-1-1)

III. 出席者 理 事 麻原きよみ、大森 純子、岡本 玲子、蔭山 正子、岸 恵美子、河野あゆみ、小西おる、佐藤 紀子、  
田口 敦子、田村須賀子、永田 智子、鳩野 洋子

監 事 荒木田美香子、宮崎美砂子

事務局 筒井 愛、折田 幸駿

(\*印は欠席者)

IV. 議 事

1. 2023~2024年度理事・監事候補者について

2023~2024年度の理事候補者12人および監事候補者2人について、資料を基に確認した。新役員は2023年度社員総会(2023年6月25日開催)での承認を経て任期開始となる。

2. 担当役員の選出について

1) 理 事 長(1人)

麻原きよみ氏を選出した。

2) 副理事長(2人)

岸恵美子氏・河野あゆみ氏の2人を選出した。

3) 推薦理事(4人以内)

2023~2026年度の代議員より、秋山正子氏(株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション)、石田千絵氏(日本赤十字看護大学)の2人が推薦された。また、総務担当理事と会計担当理事を推薦理事から選出することとし、理事長となる麻原氏に候補者の

検討を委任するとともに、推薦理事4人への就任の打診についても併せて依頼することとした。

- 4) 総務  
推薦理事から選出することとした。
- 5) 会計  
推薦理事から選出することとした。
3. 委員会委員長の選出について  
委員会の委員長ならびに副委員長について検討し、以下のとおり選出した。  
委員については各委員長が検討し、2023年度社員総会後に新役員により開催する理事会において承認することとした。
  - 1) 編集委員会  
委員長：永田智子氏，副委員長：田口敦子氏
  - 2) 研究活動推進委員会  
委員長：大森純子氏
  - 3) 広報委員会  
委員長：田村須賀子氏
  - 4) 教育委員会  
委員長：佐藤紀子氏，副委員長：岡本玲子氏
  - 5) 国際交流推進委員会  
委員長：小西かおる氏
  - 6) 表彰論文選考委員会  
委員長：鳩野洋子氏
  - 7) 災害支援のあり方検討委員会  
委員長：推薦理事候補者である石田千絵氏に就任を打診する。
  - 8) 実践促進委員会  
委員長：田口敦子氏，副委員長：推薦理事候補者の秋山正子氏に就任を打診する。
  - 9) 次世代育成推薦委員会  
委員長：蔭山正子氏
4. その他
  - 1) 2023～2026年度代議員について  
2023～2026年度の代議員70人について、資料を基に確認した。
  - 2) 次回理事会について  
2023年度社員総会を経たのち、新役員による理事会（2023年度第3回理事会）の開催に向けて日程調整を行うこととした。

#### 2023年度第1回理事会議事録

- I. 日時 2023年5月14日（日）12：00～14：30
- II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議  
配信元：株式会社ワールドプランニング会議室（東京都新宿区神楽坂4-1-1）
- III. 出席者 理事長 宮崎美砂子  
副理事長 荒木田美香子，田高悦子  
理事 秋山正子，石橋みゆき，石丸美奈，大木幸子，大森純子，蔭山正子，岸恵美子，  
北山三津子，小西かおる，田村須賀子，永田智子，春山早苗  
監事 佐伯和子，村嶋幸代  
事務局 筒井愛 （\*印は欠席者）
- IV. 議事

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

#### 審議事項

1. 2022年度第3回理事会議事録案の承認について（宮崎理事長）資料1

- 2022年度第3回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。
2. 2023年度社員総会について(石丸理事)資料2
- 2023年度社員総会の当日の役割について、議長は宮崎理事長、司会は荒木田副理事長、議事録署名人は宮崎議長および石橋理事が務めることとした。
- また、委員会報告について、実践促進委員会は委員長の大木理事に代わり副委員長の秋山理事、次世代育成推進委員会は委員長の蔭山理事に代わり副委員長の石丸理事が行うこととした。
- その他、今後のスケジュールについて、社員総会資料を5月中に確定し、6月初旬に社員へ開催案内等を送付する旨を確認した。
3. 2022年度事業報告について(宮崎理事長)資料3-1,2
- 2022年度の事業について、事業報告書案(学会全体および委員会活動)を基に確認した。2023年5月末までに予定している活動について追記したうえで、2023年度社員総会に諮ることとした。
4. 2022年度決算案について(石橋理事)資料4
- 2022年度決算案について、収支計算書・財産目録・貸借対照表を基に確認した。
5. 2022年度監査について(佐伯・村嶋監事)資料5
- 2022年度の業務および会計の監査について、4月23日に佐伯監事による対面の監査、5月2日に村嶋監事による書面の監査を実施した旨、第25回学術集会の会計監査を同時に行った旨を報告した。
- また、監査報告書のほか、会員数減少への取り組みや会議のもち方等の事業に関する点、口座の整理や学術集会監査のあり方等の会計に関する点についての意見書が提示され、内容を確認した。本意見は一部を修正し、2023年度社員総会の資料として準備することとした。
6. 2023・2024年度事業計画案について(宮崎理事長)資料6
- 2023・2024年度事業計画案について、資料を基に確認した。新たに本学会と日本公衆衛生看護学会で、地域看護学と公衛生看護学の概念整理に向けての取り組みを開始することから、「地域看護学の再定義を踏まえ、関連学会との連携による地域看護学の概念整理等を行う。」をそれぞれ追記することとし、これを承認した。
7. 2023年度予算案について(石橋理事)資料7
- 2023年度予算案について、資料を基に確認し、入会金収入としてユース会員20人分(5,000円×20人=100,000円)を追加で計上することとし、これを承認した。
8. 名誉会員候補者について(宮崎理事長)資料8
- 名誉会員候補者として平野かよ子氏が推薦され、これを承認した。
- なお、平野氏は2023-2026年度代議員として選出されていることから、2023年度社員総会承認後の名誉会員就任を以て代議員は欠員とする旨、また、代議員選出規程第19条に則り、欠員の補充は行わない旨を併せて確認した。
9. ユース会員設置に伴う定款の変更について(石丸理事)資料9
- ユース会員の設置に伴う定款の変更について、修正案を確認し、これを承認した。
10. 論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドライン案について(永田・蔭山理事)資料10
- 「論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドライン案」「審議手順に関する内規案」「掲載論文の撤回および訂正に関する内規案」について、修正案を基に確認し、2023年5月14日付でこれを承認した。
11. アーカイブ動画公開サイトの構築について(石丸理事)資料11,15-2
- アーカイブ動画公開サイトの構築について、他学会の例を参考に、学会HPに新たに会員専用サイトを設置し、サイト内で動画の視聴や登録内容の変更等の手続きができるよう整備する方法を説明した。ただし、本学会のHPは、“http”から始まるUMINのWebサーバーを使用していることから、会員専用サイトの構築にあたり、“https”から始まる暗号化された通信環境に変更する必要がある旨を併せて報告した。
- また、研究活動推進委員会より提出された、アーカイブ動画を公開する際のメリットとデメリットをまとめた資料についても確認し、今後、会員専用サイトの設置とサーバーの変更の2点を併せて検討していく方針の下、次期理事会において継続して審議することとした。
12. 第28回学術集会長について(宮崎理事長)
- 2023年度より新体制となることから、第28回学術集会長の決定は次期理事会に申し送る旨の提案がなされ、これを承認した。
13. 入退会者申請者について(宮崎理事長)資料12, 別添資料
- 入会申請者88人、退会申請者65人(2022年度退会64人、2023年度退会1人)について、資料を基に確認し、これを承認した。

なお、入会申請者で推薦人がいない20人については、富山県内の病院に所属する1人は田村理事、大阪大学所属の1人は小西理事、第26回学術集会の演題登録者は荒木田理事、その他は宮崎理事長を推薦人とすることとした。また、退会申請者のうち、年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

#### 報告事項

##### 1. 第26回学術集会について(宮崎理事長)

5月13日時点での登録数について、演題104題、ワークショップ8題、参加登録180件、学生企画0件である旨を報告した。また、演題の査読は、5月19日に査読を依頼し、6月1日に査読結果を通知する予定で進めている旨を併せて報告した。

##### 2. 第27回学術集会について(大森理事)資料13

2024年6月29～30日に開催予定の第27回学術集会の進捗状況について、企画概要、企画委員名簿、予算案、プログラム案を基に報告した。

また、理事会企画セミナーについて、他のプログラムと異なり、セミナーの内容や講師の選定、時間枠の決定までに学術集会企画委員会と理事会とで連携が必要となることから、今後のあり方について質問が挙がったが、理事会から発信する場として継続して企画を続けていく方針である旨を確認した。

##### 3. 会員数について(宮崎理事長)資料14

5月10日時点での会員数は、1,364人である旨を報告した。

##### 4. 委員会報告について

###### 1) 研究活動推進委員会(大森理事)資料15

2022年度研究セミナー(LIVE配信:3月4日/オンデマンド配信:3月6～21日)について、実施報告書を基に報告した。参加者は338人(会員226人、非会員40人、学生72人/うちオンデマンド配信期間中の受付21人)であり、配信結果はライブ配信170人、オンデマンド配信動画視聴回数377回であった。また、アンケートには133件の回答があり(回答率39.3%)、概ね好評であった旨を報告した。

###### 2) 広報委員会(田村理事)資料16

2月10日～3月10日の期間で実施した、全国市町特別区母子保健担当課保健師に対する意向調査について、資料を基にアンケート結果を報告した。1,560件の送付に対して204件の回答があり(回答率13.1%)、「子ども家庭庁」「子ども家庭センター」設置にあたっての保健師の関心事や、学術集会への意見や要望等、本学会にとって有益な情報が得られた旨を報告した。

###### 3) 教育委員会(岸理事)

地域看護学を見える化し、授業等に活用できるツールを作成する取り組みについて、6月2日に委員会を開催し、完成に向けて検討予定である旨を報告した。

###### 4) 災害支援のあり方検討委員会(春山理事)

次期委員へ向けて引継ぎの準備を行っている旨を報告した。

###### 5) 次世代育成推進委員会(蔭山理事)

3月16日20:00～21:00に、第2回地域看護次世代育成トークチャンネル「新人保健師のお悩み共有!それ!私も悩んでます!」を実施し、4月26日時点での視聴回数は246回である旨を報告した。

##### 5. その他

###### 1) 2023年度からの理事・監事候補者による懇談会について(宮崎理事長)

5月14日10:00より、2023年度からの理事・監事候補者による懇談会を実施した旨を報告した。

#### 2023年度第2回理事会議事録

I. 日 時 2023年6月25日(日)10:00～10:30

II. 会議形態 TKP品川カンファレンスセンター ANNEX「カンファレンスルーム5」

(東京都港区高輪3-13-1 TAKANAWA COURT 3F)

III. 出席者 理事長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子

理 事 秋山 正子\*, 石橋みゆき, 石丸 美奈, 大木 幸子\*, 大森 純子, 蔭山 正子\*, 岸 恵美子,  
北山三津子\*, 小西かおる, 田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗

監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛, 折田 幸駿

(\*印は欠席者)

## IV. 議 事

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

## 審議事項

- 2023年度第1回理事会議事録案の承認について(宮崎理事長)資料1  
2023年度第1回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。
- 入退会者申請者について(宮崎理事長)資料2, 回覧資料  
入会申請者17人、退会申請者2人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者で推薦人がいない1人については、宮崎理事長を推薦人とする事とした。
- 2023年度社員総会について(石丸理事)資料3, 社員総会資料  
2023年度社員総会の資料を確定した。また、運営について、進行表、席次表、シナリオを基に併せて確認した。

## 報告事項

- 会員数について(石丸理事)資料4  
6月20日時点での会員数は、1,388人である旨を報告した。
- 新役員の体制案について(宮崎理事長)資料5  
5月14日に、2023年度からの理事・監事候補者による懇談会が開催された旨、推薦理事4名を含む理事16名、監事2名を2023～2024年度役員候補者として確定し、2023年度社員総会に諮る旨を報告した。また、新役員の体制案についても併せて確認した。
- 日本看護系学会協議会2023年度社員総会について(宮崎理事長)資料6  
6月10日に日本看護系学会協議会(JANA)2023年度社員総会が開催され、宮崎理事長が出席した旨を、資料を基に報告した。また、本社員総会の承認を経て、田高副理事長がJANAの新理事に就任した旨を併せて報告した。
- 2023年度第1回全国公衆衛生関連学協会連絡協議会総会について(田高理事)当日資料  
5月25日に2023年度第1回全国公衆衛生関連学協会連絡協議会(全公連)総会が開催され、全公連の世話人でもある田高副理事長が出席した旨を、資料を基に報告した。  
また、2024年度全公連学術集会において、本学会が発表を行う旨を次期理事会に引き継ぐことについて確認した。  
その他、全公連のHPおよびメールマガジンが整備され、加盟団体(全28団体)の情報の掲載・配信を開始したことから、適宜、本学会の学術集会やセミナーに関する広報・周知を行ってはどうかとの提案がなされ、今後活用していくこととした。
- その他
  - 第26回学術集会について(荒木田理事)当日資料  
第26回学術集会の進捗状況について、演題136題、ワークショップ9題の登録があった旨を報告した。また、学生プログラムの1つである学生口演発表の登録締切を7月12日まで延長し、活動報告も可とした旨を報告し、登録の協力を呼びかけた。
  - 第27回学術集会について(大森理事)  
第27回学術集会の進捗状況について、新たに副学術集会長を設置することとし、東北大学病院の看護部長への打診を予定している旨、また、サブテーマの変更を検討している旨を報告した。  
変更案：「地域看護のソーシャルイノベーション；地域の包容力を高める看護の可能性」

## 2023年度社員総会議事録

- 日 時 2023年6月25日(日)11:00～12:20
- 会議形態 TKP品川カンファレンスセンター ANNEX「カンファレンスルーム5」  
(〒108-0074 東京都港区高輪3-13-1 TAKANAWA COURT 3F)
- 社 員 数 総社員数：61人  
議決権行使書：31人  
委任状：21人  
未回答：9人  
会場出席者：27人

## IV. 議 事

- 社員総会の成立について

定款第19条「社員総会の決議は、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席社員の過半数をもって行う」に則り、本社員総会の成立が宣言された。

なお、本社員総会は、6月2～15日までの期間において、社員が事前に提出した議決権行使書・委任状に基づき、6月25日に議決結果の確認と承認、資料の説明、質疑応答を行う形式で実施する旨を説明した。

## 2. 議事録署名人の決定

定款第24条「社員総会の議事については、法人法第57条の規定に基づき、議事録を作成し、議長及び出席理事が署名又は記名押印しなければならない」に則り、宮崎議長ならびに石橋理事が務めることとした。

## 3. 議題の承認

- |                                  |                    |
|----------------------------------|--------------------|
| 1) 第1号議案：2022年度事業報告について          | (賛成：52人、否決：0人)【可決】 |
| 2) 第2号議案：2022年度収支決算について          | (賛成：52人、否決：0人)【可決】 |
| 3) 第3号議案：2022年度監査報告について          | (賛成：52人、否決：0人)【可決】 |
| 4) 第4号議案：2023・2024年度事業計画について     | (賛成：52人、否決：0人)【可決】 |
| 5) 第5号議案：ユース会員設置に伴う定款の変更について     | (賛成：52人、否決：0人)【可決】 |
| 6) 第6号議案：2023年度収支予算について          | (賛成：52人、否決：0人)【可決】 |
| 7) 第7号議案：2023～2024年度理事・監事の選任について | (賛成：52人、否決：0人)【可決】 |
| 8) 第8号議案：名誉会員の推薦について             | (賛成：52人、否決：0人)【可決】 |

第1～8号までのすべての議案は、社員52人の出席・賛成が得られたことから可決された。

なお、第5号議案を除く各議案は、定款第19条第1項「社員総会の決議は、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席社員の過半数をもって行う」に基づき決議した。

第5号議案は、定款の変更に関するもので議決の要件が異なることから、定款第19条第2項「総社員の半数以上でかつ総社員の3分の2以上に当たる多数をもって行う」に基づき決議した。

## 4. 報告事項

- ・2023～2024年度の役員の紹介が行われた。
- ・第26回学術集会について、荒木田美香子学術集会長より、2023年9月2～3日の会期で、川崎市立看護大学（川崎市）およびWeb配信のハイブリッド形式にて開催する旨を報告した。
- ・第27回学術集会について、大森純子学術集会長より、2024年6月29～30日の会期で、AER（仙台市）およびWeb配信のハイブリッド形式にて開催する旨を報告した。

## 5. 意見交換

社員より、以下の意見があった。

- ・[第4号議案：2023・2024年度事業計画について]

今後の事業計画のなかで、外来看護や看護小規模多機能型居宅介護（看多機）といった、新しい実践の場における看護活動についても学会で取り上げてほしい。

- ・[第4号議案：2023・2024年度事業計画について]

関連学会との連携による地域看護学の概念整理について、どのような学会と協働して取り組むのか、成果に期待している。